

公告

令和6年7月8日

豊橋市長 浅井 由崇

次のとおり公募型プロポーザルを行いますので、参加を希望される方は、下記のとおり必要書類を提出してください。

記

1 公募型プロポーザルに付す事項

(1) 業務名

自動運転社会実装推進事業委託業務

(2) 業務内容

別紙「仕様書」のとおり

(3) 委託期間

契約締結日から令和7年3月28日まで

(4) 業務場所

豊橋市駅前大通一丁目地内ほか

(5) 契約上限金額

金 35,000 千円（消費税及び地方消費税を含む。）

2 プロポーザルに参加する者に必要な資格

(1) プロポーザル参加意向申出書の提出日現在において、次の各号に掲げる要件をすべて満たすこと。

ア 令和6・7年度豊橋市入札参加資格者名簿の大分類：役務の提供、中分類：コンピューターサービス、小分類：システム開発について登録されていること。

イ 過去5年間（令和元年度～令和5年度）に受託者として、国、地方公共団体が発注する自動運転レベル2以上で国内の公道を走行した自動運転実証実験等の実績を有する者であること。

(2) 本プロポーザルの公告の日から契約候補者特定までの間において、次の各号に掲げる要件をすべて満たすこと。

ア 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項の規定に該当する者でないこと。

イ 「豊橋市工事請負契約等に係る入札参加停止措置要領」による入札参加停止の期間がないこと。

ウ 「豊橋市が行う事務又は事業からの暴力団排除に関する合意書」（平成26年3月26日付け豊橋市長・愛知県豊橋警察署長締結）に基づく排除処置を受けていないこと。

エ 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立てがなされていない者及び民事再生法（平成11年法律第225号）第21条に基づき再生手続開始の申立てがなされていない者。ただし、会社更生法に基づく更生手続開始の決定を受けた者又は民事再

生法に基づく再生手続開始の決定を受けた者で、再度の入札参加資格審査の申請を行い、認定を受けた者については、更生手続開始又は再生手続開始の申立てをなされなかった者とみなす。

3 参加手続

(1) 担当部署及び問い合わせ先

〒440-8501

愛知県豊橋市今橋町1 豊橋市都市計画部都市交通課

電 話：0532-51-2620

ファックス：0532-56-5108

電子メールアドレス：toshikotsu@city.toyohashi.lg.jp

(2) 実施要領等の入手方法

下記ホームページからダウンロードすること。

豊橋市都市計画部都市交通課ホームページ

<https://www.city.toyohashi.lg.jp/item/113043.htm#itemid113043>

(3) プロポーザル参加意向申出書

ア 提出期限

令和6年7月22日（月）午後5時必着

イ 提出場所

(1) に同じ

ウ 提出部数

1部

エ 提出方法

持参（土・日曜日、祝日・休日を除く毎日8時30分から17時まで）又は郵送（書留郵便に限る）とする。

オ 提案資格

提案資格確認後、「提案資格確認結果通知書」により、提案書等の提出について通知する。

(4) 提案書等の提出

ア 提出期限

令和6年8月7日（水）午後5時必着

イ 提出場所

(1) に同じ

ウ 提出部数

11部（正本1部、副本10部）

※ 副本には提案者名が特定できるような記述をしないこと

エ 提出方法

持参（土・日曜日、祝日・休日を除く毎日午前8時30分から午後5時まで）又は郵送（書留郵便に限る）とする。

4 評価の方法及び契約候補者の選定

提出された提案書等について、「自動運転社会実装推進事業委託業務プロポーザル評価委員会」において下記のように評価を実施し、最も優れている提案者を契約候補者として特定し、契約締結に向けた手続を行う。

(1) 審査（書面審査、プレゼンテーション・ヒアリング）

日程 令和6年9月5日（木）

提案者におけるプレゼンテーション・ヒアリングの開催時間、場所及び留意事項等については別途通知する。（令和6年8月29日（木）予定）

なお、出席者は2名以内（うち1名は業務を中心的に担当する者が望ましい。）とし、提案内容を中心に説明をしていただき、一者あたり20分程度（説明15分、質疑5分程度）を予定している。

5 注意事項

(1) 提案書等の作成等提案に関して必要となる一切の費用は、提案者の負担とする。

(2) 提出された提案書等は返却しない。

(3) 次に該当する提案は、無効とする。

ア．本公告に示した提案資格を有しない者の提案

イ．提案書等に虚偽の記載をした者の提案

ウ．提案書等の作成及び提出に関する条件に違反した提案

エ．見積金額が契約上限金額を超える提案

オ．評価の公平性に影響を与える行為をした者の提案

6 その他

(1) 手続きにおいて使用する言語及び、通貨及び単位

日本語及び、日本円、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に定める単位とする。

(2) 契約書作成の要否

要

(3) その他詳細は、「自動運転社会実装推進事業委託業務プロポーザル実施要領」による。